

第100期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



Heat in Heart

情熱で拓く。誠実で応える。



 昭和鉄工株式会社
Showa Manufacturing Co.,Ltd.



中期経営計画「全社横断のさらなる収益基盤の確立と

当中間期(2021年4月1日～2021年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、断続的に緊急事態宣言をはじめ外出自粛要請や時短・休業要請が発出されるなど厳しい状況が続きました。その後、国内では新型コロナワクチン接種の進展に伴う行動制限緩和を受けて持ち直しの兆しが見られるものの、世界経済においては半導体不足や原油価格の高騰等により不確実性が増すなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として安全衛生管理の徹底や健康への配慮を最優先に、営業・製造・サービス活動への影響に対するモニタリングを強化し、刻々と変化する状況に迅速かつ適切に対応してまいりました。

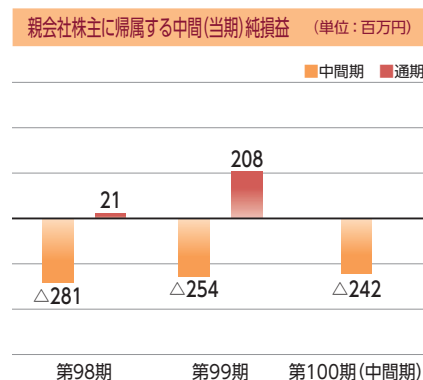
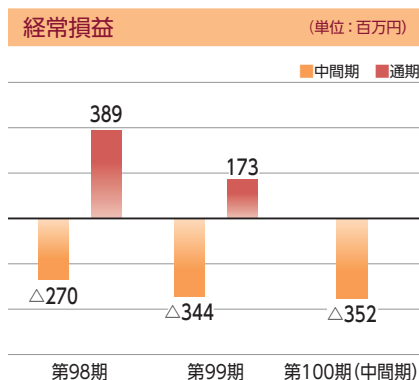
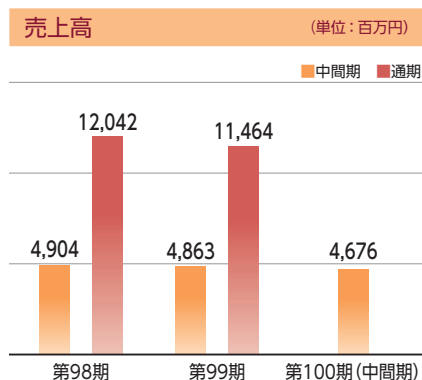
また、中期経営計画「全社横断の改革を執行し“140”へ向かおう！」の2年目の年として、2022年度に連結売上高140億円以上、連結売上高営業利益率5%以上の達成を目指し、重点課題である「全体最適化と人材育成を加速させる体制づくり」、

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2021年9月30日をもちまして、第100期中間期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに中間決算の結果につきましてご報告申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 日野宏昭



改革を実行し「140」へ向かおう！」のもと、 構造改革に注力してまいります。

「実践的な生産性改革の推進」及び「全社一丸での事業収益の拡大」に取り組んでまいりました。

機器装置事業につきましては、空調機器はエアハンドリングユニットが好調に推移しました。また、熱源機器はほぼ前年同期並みに推移しました。一方で、環境機器は空気清浄機、サーモデバイス機器は熱処理炉がそれぞれ低調に推移し、当事業の売上高は26億9千2百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

素形材加工事業につきましては、景観製品は標準高欄、鋳造品は精密鋳造品がそれぞれ低調に推移し、当事業の売上高は7億9千万円(前年同期比21.0%減)となりました。

サービスエンジニアリング事業につきましては、取替工事及び保守契約が好調に推移し、当事業の売上高は11億9千3百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

その結果、当中間期における当社グループの売上高は46億7千6百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

損益面では、営業損失は3億5千6百万円(前年同期は営業

損失3億5千8百万円)、経常損失は3億5千2百万円(前年同期は経常損失3億4千4百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は2億4千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失2億5千4百万円)となりました。

通期の見通しにつきましては、生産・消費両面で経済活動が緩やかに正常化へ向かうと見込まれる一方で、世界的な新型コロナウイルス感染症の収束時期が不明瞭なことから、経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループは、中期経営計画「全社横断の改革を実行し「140」へ向かおう！」を確固たるものとするためにも、今期の業績計画達成に向け全力で取り組む所存でございます。

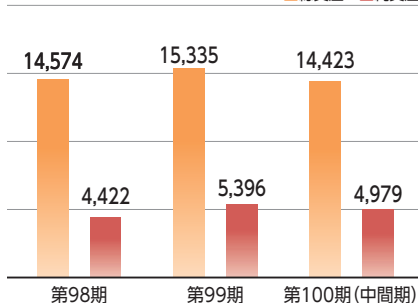
また、中間配当につきましては、今後の経営環境の見通しや内部留保の充実を勘案し、見送らせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総資産・純資産

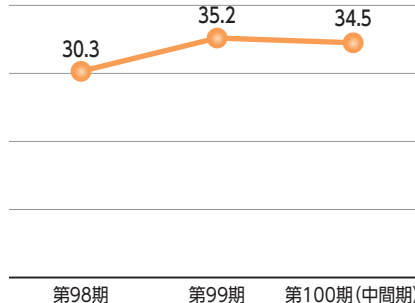
(単位：百万円)

■総資産 ■純資産



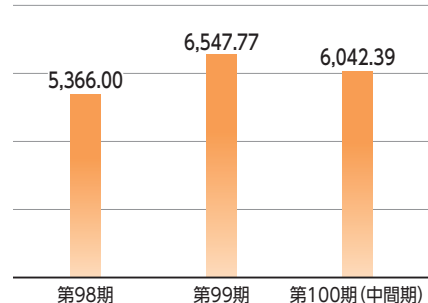
自己資本比率

(単位：%)



1株当たり純資産

(単位：円)



中間連結貸借対照表

科目	当中間期 2021年9月30日現在	前中間期 2020年9月30日現在	前期 2021年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	7,496	8,047	8,468
現金及び預金	2,581	2,660	2,981
受取手形及び売掛金	—	2,818	3,066
受取手形、売掛金及び契約資産	2,620	—	—
電子記録債権	674	633	962
商品及び製品	206	354	125
仕掛品	961	1,150	936
原材料	337	319	304
その他	117	112	93
貸倒引当金	△2	△2	△3
固定資産	6,926	6,360	6,867
有形固定資産	3,583	3,107	3,285
建物及び構築物	1,043	1,035	1,038
機械装置及び運搬具	620	341	531
土地	1,584	1,584	1,584
その他	334	145	130
無形固定資産	96	98	97
投資その他の資産	3,246	3,155	3,484
投資有価証券	2,907	2,819	3,133
繰延税金資産	1	1	2
その他	367	488	380
貸倒引当金	△31	△154	△32
① 資産合計	14,423	14,407	15,335

① 総資産

前期末に比べ9億1千2百万円減少し、144億2千3百万円となりました。主な要因は、現金及び預金4億円、受取手形、売掛金及び契約資産4億4千5百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ4億9千5百万円減少し、94億4千3百万円となりました。主な要因は、電子記録債務9億7千2百万円が増加した一方で、支払手形及び買掛金12億9千2百万円が減少したものです。

③ 純資産

前期末に比べ4億1千6百万円減少し、49億7千9百万円となりました。主な要因は、利益剰余金3億2百万円、その他有価証券評価差額金1億6千2百万円が減少したものです。

科目	当中間期 2021年9月30日現在	前中間期 2020年9月30日現在	前期 2021年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	6,393	7,202	7,213
支払手形及び買掛金	922	2,604	2,214
電子記録債務	1,298	—	326
短期借入金	2,975	3,412	3,400
未払費用	567	593	458
未払法人税等	38	41	40
設備関係支払手形	160	86	209
その他	431	464	564
固定負債	3,050	2,658	2,725
長期借入金	675	300	300
退職給付に係る負債	1,669	1,933	1,737
繰延税金負債	160	95	319
その他	545	330	368
② 負債合計	9,443	9,861	9,938
(純資産の部)			
株主資本	4,184	4,023	4,486
資本金	1,641	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226	1,226
利益剰余金	1,447	1,286	1,749
自己株式	△130	△130	△130
その他の包括利益累計額	795	522	909
その他有価証券評価差額金	904	820	1,067
為替換算調整勘定	75	38	45
退職給付に係る調整累計額	△184	△336	△203
③ 純資産合計	4,979	4,546	5,396
負債及び純資産合計	14,423	14,407	15,335

中間連結損益計算書

科目	当中間期 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	前中間期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	前期 自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日
4 売上高	4,676	4,863	11,464
売上原価	3,843	4,035	9,006
売上総利益	832	828	2,458
販売費及び一般管理費	1,189	1,186	2,411
5 営業損益	△356	△358	46
営業外収益	91	88	203
営業外費用	87	73	76
5 経常損益	△352	△344	173
特別利益	11	30	59
特別損失	—	—	25
税金等調整前 中間(当期)純損益	△341	△313	208
法人税、住民税及び事業税	14	14	30
法人税等調整額	△113	△73	△30
中間(当期)純損益	△242	△254	208
5 親会社株主に帰属する 中間(当期)純損益	△242	△254	208

4 売上高

2022年度に連結売上高140億円以上、連結売上高営業利益率5%以上の達成を目指し、「全体最適化と人材育成を加速させる体制づくり」、「実践的な生産性改革の推進」及び「全社一丸での事業収益の拡大」に取り組んでまいりました。その結果、当中間期における当社グループの売上高は46億7千6百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

5 営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する中間純損益

営業損失は3億5千6百万円(前年同期は営業損失3億5千8百万円)、経常損失は3億5千2百万円(前年同期は経常損失3億4千4百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は2億4千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失2億5千4百万円)となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	前中間期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	前期 自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日
6 営業活動による キャッシュ・フロー	△0	△9	302
投資活動による キャッシュ・フロー	△290	△164	△132
財務活動による キャッシュ・フロー	△109	△74	△96
現金及び現金同等物の 増減額	△400	△247	73
現金及び現金同等物の 期首残高	2,907	2,833	2,833
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	2,507	2,586	2,907

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、支出した資金は0百万円(前年同期は9百万円の支出)となりました。主な要因は、売上債権の減少額6億3千2百万円による増加と、税金等調整前中間純損失3億4千1百万円及び仕入債務の減少額2億8千7百万円による減少です。

モニター
開始

宇美町体育館での換気モニタリングを開始しました！

立形ルーフトップ外気処理機
CareFresh

2021年6月、外気処理機による換気効果のモニタリングを目的として、地元自治体の宇美町体育館に当社の「ケアフレッシュ」が導入され、7月にモニター開始セレモニーが執り行われました。

このモニタリングは、九州大学大学院との共同研究プロジェクトでもあり、産学協同で換気効率やPM(暑さ・寒さの感覚の指標)算定等の検証・研究を進めています。

全国地方自治体の体育館における機械換気設備の普及率は大変低く、ガラリ(通気口)による自然換気に任せているのが現状のため、コロナ禍においては体育館を使用するイベントの中止も余儀なくされています。加えて、甚大な災害も多発する昨今、地域の避難所としても利用される体育館への換気設備導入は喫緊の課題です。

今回導入した「ケアフレッシュ」は、大風量の外気を内蔵ヒートポンプで効率的に適切な温湿度に処理して室内に給気する省エネ効果も高い外気処理機で、大量の換気・排気が必要な施設に適しています。このモニタリングで確実な効果を実証し、全国の体育館等の大型施設への導入を目指します。



7月に行われたモニター開始セレモニー

設備導入

宇美工場にレーザー切断機とスタッド溶接機を導入しました！

当社グループでは、中期経営計画の重点課題の一つとして「実践的な生産性改革の推進」を挙げ、製造設備の自動化を進めています。その取り組みの一環として、このたび宇美工場にレーザー切断機とスタッド溶接機を導入しました。新たな自動化設備の導入により、大幅な工数低減や省力化のほか作業上の安全性向上が期待され、働き方改革にもつなげていきたいと考えています。



レーザー切断機



スタッド溶接機



会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	1883年10月2日
設立	1933年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	383名(連結386名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシ等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負

主な事業所

東京支社	神奈川県川崎市川崎区中島二丁目2番7号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(北海道石狩市)
支店	東京(川崎市)、大阪、九州(福岡県糟屋郡)
営業所	札幌(北海道石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、広島、下関、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和トータルサービス株式会社、大連冰山空調設備有限公司

役員

取締役・監査役

代表取締役	日野 宏昭
取締役	倉岡 淳
取締役	尾島 孝則
取締役	井上 敏
取締役	村瀬 廣記
取締役	松尾 利浩
監査役(常勤)	伊達 正治
監査役	吉田 泰彦
監査役	本田 隆茂

執行役員

社長CEO	日野 宏昭
専務執行役員	倉岡 淳
上級執行役員	尾島 孝則
上級執行役員	井上 敏
執行役員	平田 清
執行役員	執行 貴洋
執行役員	名和 正之
執行役員	森 克郎

株式の状況

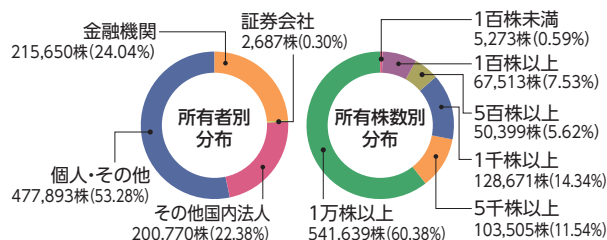
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主数	809名

大株主

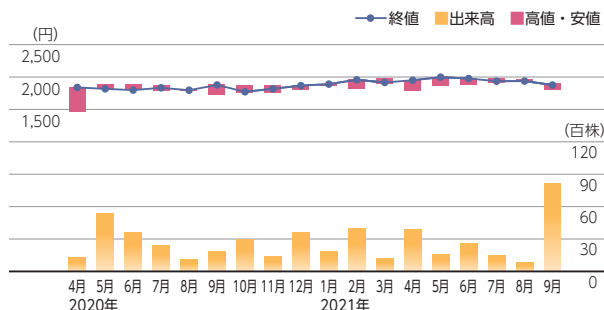
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.68
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.67
株式会社北九州銀行	35,750	4.33
西部ガスホールディングス株式会社	34,500	4.18
西日本鉄道株式会社	29,100	3.53
飯田久泰	26,700	3.23
飯田卓子	26,561	3.22
飯田吉宣	23,088	2.80
稲田好美	19,813	2.40
日本乾溜工業株式会社	19,700	2.39

(注)持株比率は、自己株式(72,840株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国 各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 https://www.showa.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
単元株式数	100株



ホームページもご覧ください。
<https://www.showa.co.jp/>

● 株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増
等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。



〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
TEL 092-933-6390 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。